



扇 寿

能代市立第五小学校

学校報 NO. 14
令和6年 12月 10日
TEL. 58-2178 校長室

回 覧

自治会の皆様
お願いします

〈校 訓〉 夢にいだみ 人と和す
〈教育目標〉 進んで学び 心豊かで すこやかな子どもの育成

人との出会いは「偶然」なのか「必然」なのか。不思議です。出会いを大切に！

豊島区教育訪問で本校を訪れた方が能代市の学校教育について第五小学校を取り上げ豊島区の副校長会で紹介してくれるそうです。前日の懇親会で隣席となり、熱く語る女性だなあと感じていた横手市の出身でした。「豊島区と能代の子どもの実態」「先生たちのがんばり」「授業について」情報交換しました。途中から沖縄県出身の若い先生も加わり「能代に学べではなく、能代を超えなくちゃいけないんです」と熱く話していました。「いいねえ。明日は第五小学校の子どもや先生の表情を見てほしい。小さな規模だからできることもあるけれど、参考にしていただけることも少しはあるはず」と伝えました。学校訪問後には、「校長先生、戻ってがんばります！」と話していました。私は若い頃、根拠のない自信の上に立ち生徒の前に居たなあ。技量はなかったが情熱はあったよなあ。同僚と飲みながら学級経営や部活指導を語り合ったなあ。豊島区にも能代にも熱い若者がいて頼もしいなあなどいろんなことを考えました。

教員研修を担当している頃、講座で「人の出会いは偶然？必然？どう思いますか」と聞いていました。いつも半分半分くらいでした。湯沢の小学校に単身赴任したとき、一人で温泉に出かけると県の強化で関東遠征に連れて行った湯沢の中学生が柔道少年団の指導者になっていて「渡部先生。なぜここに？柔道を教えに遊びに来てください」と声を掛けてくれました。校長会で市役所に行ったとき、健康のため階段を上っていると八竜中時代の教え子に出会い「渡部先生、お父さんから湯沢にいると聞いてました。いつか会えないかなと思ってました」とおいしい焼き肉屋さんを教えてくださいました。初めてのPTAのとき、あるお母さんが「校長先生、檜山というと〇〇さんの家が近くにありませんか？私の同級生なんです」と声を掛けてくれました。まさか湯沢の三梨で檜山の話ができるなんて。「人は、人との関係の中で苦しむこともある。でも助けてくれるのも人である」という言葉があるように五小っ子にもいろんな出会いを大切にしながら人と関わり、成長してほしいと願っています。

PTA交通安全教室と演奏会！ これも人との関わりから実現

12月6日PTA授業参観と親子研修会を行いました。本校の保護者のみなさんはPTA活動を自分事として、昨年は落語、今年は交通安全教室と演奏会を企画してくれました。準備も保護者が中心

で先生や児童は楽しく参加できる素敵な会となっています。駐車場整理には地域の方にもご協力いただいています。役員決めや学年レク運営、田沢湖スキー行事や150周年行事への応援態勢構築などありがたい限りです。同窓会の方々も「我々にできることを要望してほしい」と言ってくださいます。地域と連携しながら学ぶ学校として「能代市移住定住ガイドブック」で紹介されることになりました。1月中旬に発信されます。今後も応援よろしくをお願いします。



全校集会で、挑戦しながら成長していること、学びは生活につながっていることを伝えようと思い学年に向けてクイズを出してみました。1年生にはミカンを使った「たしざん」。2年生には「毎日テストを受けに来る九九」。3・4年生には「わり算、かけ算」。5・6年生には、献血の話からの計算問題です。自分の身に付けた力を使って答えてもらいました。真剣に考えて答えようとする姿がとてもいいと思いました。5・6年生には「後で答えが出たら教えに来て」と話したところ集会後すぐに6年生女子が正解！「さすが。食らいついてくるねえ」。中休み、2年生の九九テストをしていると4年生男子が正解「5・6年生の問題に挑戦したね。これが学習だぞ。いいねえ。」その後、5年生女子、5年生男子が正解。「言葉だけでは問題が分かりづらい。紙がないと計算できない。」そんなことは分かっています。どれだけ食らいついてくるのか見たかったのです。正解したみなさんに共通しているのは、正解して褒美を求めるのではなく、難問をクリアしたぞという自信に満ちた素敵な笑顔です。

